

2022年2月22日

新型コロナウイルスに関する職員への注意喚起（第13弾）

新型コロナウイルス対策本部

高齢者に感染させないために「感染防止対策」の徹底を

オミクロン株の感染拡大に最大限の警戒を 兵庫県の「まん延防止等重点措置」を延長 (1月27日～3月6日)

オミクロン株による感染の勢いが止まりません。最大限の警戒が必要です。

兵庫県の「まん延防止等重点措置」が延長されました。(1月27日～3月6日)

法人内でも、職員・ゲストの感染が急増しています。病床が逼迫しているため、ゲストが陽性になっても入院できない状況が起こっています。陽性のゲストを施設内で療養することは、本当に難しいことです。感染拡大のリスクがたいへん高くなります。

オミクロン株は重症化しにくいと言っても、基礎疾患の多い高齢者は重症化する可能性があります。特に重症化しやすい高齢者への感染を、何とか防がなければなりません。

さらに感染防止対策の徹底と3回目のワクチン接種の推進をお願いします。

職員の皆さんへのお願い

- 「マスクを外して人と接しない、会話をしない」「飲食時は特に注意」
- 手洗い・うがい・手指消毒の徹底
- 換気の徹底と「3密」(密閉・密集・密接)の回避
- 不要・不急の外出・移動の自粛
- 職員の食事休憩時に、十分な感染対策(仕切り、時間、人数制限等)を実施
- 更衣室でのマスク着用等の感染対策を徹底
- 発熱(平熱より高い場合も)等の体調不良時は出勤せずに、速やかに上司へ連絡
- マスクが必要な場面では、不織布の三層マスクを使用

「感染者が出た場合でも感染を最小限に食い止め、クラスターを発生させない」